

平成30年度 農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	総合実習	単位数	4単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ

動物飼育・栽培管理、畜産物加工における総合的な技術や動物の活用について、体験的に学ぶ実習科目です。動物飼育・栽培管理、畜産物加工における知識および技術について、その役割を理解し、繰り返し活用することによって確実に習得しましょう。実習のなかで自ら課題を発見し、その解決のために、工夫や改善を行い、仲間と協力するなどして、実践的な能力と態度を身に付けましょう。

2 学習の到達目標

- ・動物飼育・栽培管理や畜産物加工などに関する総合的な知識と技術を習得する。
- ・動物の活用についての理解を深め、企画力や管理能力などを身に付ける。
- ・動物飼育や畜産物加工の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・技能
観 点 の 趣 旨	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける専門技術に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける専門技術とそれらに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などに関する基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	動物飼育・栽培管理や畜産物加工、動物活用などにおける基礎的・基本的な知識を身に付け、それらに関する知識や技術の体系を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ発表会 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 農業クラブ級位検定 自己評価等	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 自己評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	専門技術 総合実習	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の知識と技術	○		○		a: 専門技術と動物の活用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 専門技術と動物の活用における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 専門技術と動物の活用について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 専門技術と動物の活用について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ 発表会 級位検定 自己評価
	動物の活用 総合実習	動物の活用の知識と技術	○	○				
	学校農業 クラブ活動	発表会への参加 級位検定	○	○		○		
2 学期	専門技術 総合実習	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の知識と技術	○		○		a: 専門技術と動物の活用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 専門技術と動物の活用における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め判断・表現している。 c: 専門技術と動物の活用について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 専門技術と動物の活用について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ 発表会 級位検定 自己評価
	動物の活用 総合実習	動物の活用の知識と技術	○	○				
	学校農業 クラブ活動	発表会への参加 級位検定			○	○		
3 学期	専門技術 総合実習	動物飼育・栽培管理、畜産物加工の知識と技術	○		○		a: 専門技術と動物の活用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 専門技術と動物の活用における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c: 専門技術と動物の活用について基本的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 専門技術と動物の活用について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 実習記録簿 レポート 農業クラブ 級位検定 自己評価
	動物の活用 総合実習	動物の活用の知識と技術	○	○				
	学校農業 クラブ活動	プロジェクト活動 のまとめ 級位検定	○	○		○		

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。